

無憂樹

『蓮の五徳』

さいきん あめ ひ おお び あつ
最近 は雨の日も多く蒸し暑い
ひ つづ
日が続いています。引き続き
ねつちゅうしやう
熱中症に気を付けていきま
よう。

さて じようそんじ はす はな そだ
浄尊寺では蓮の花を育
てておりますが、今年も花が咲
いてくれました。これから夏にか
けていっぱい咲いてくれたら嬉し
いことです。よくお寺では蓮の花
そだ
を育てられており、目にされた
かた おお
方も多いのではないですか。
それは蓮が仏教と、とても関わ
りが深いからです。多くの仏像
が蓮の花の台座(蓮台)の上に

令和7年6月号

浄尊寺
熊本市西区田崎
1-4-39
TEL・FAX
096-354-6530



あんち
安置されているのも蓮が悟りの
象徴だからです。色々なお
きよう
経にも蓮がでてきますが、
ぶつせつ あみだ きよう
仏説阿弥陀経というお経に、
ごくらくじようど
極楽浄土には池の中に蓮が咲い
ており、大きさは車輪のごとし、
と書かれてあります。そんな蓮
には五つの徳があるとと言われて
います。

一 淤泥不染の徳

おでいふぜん とく
蓮は綺麗な水ではなく、泥の中
で花を咲かせます。この泥の中

を 私たちの娑婆世界であらわ
されます。煩惱にまみれた私
たちの世界から信心という綺麗
な花を開かせていくことです。

二 一茎二花の徳

はす はな いっぽん くき ひと
蓮の花は一本の茎に一つの花を
咲かせます。これは私のいのち
は誰も代わることができない、
唯一無二の存在であるというこ
とです。(昨年浄尊寺でも咲き
ましたが、ごくまれに一本の茎
に二つの花が咲くことがありま
す)

三 花果同時の徳

はす はな さき
蓮の花が咲いたのと同時に実が
できている様子をあらわしてい
ます。浄土真宗では南無
阿弥陀仏のおいわれを聞いて
信心をいただく時、往生が定

まると蓮の花に教えてもらいま
す。

四 一花多果の徳

はす いっぽん はな おお
蓮は一本の花に多くの実をつけ
ます。自分自身が仏教の教え
にであいい、その教えが多く
人々に伝わっていくことで幸せ
につながっていくことです。

五 中虚外直の徳

はす くき そとがわ
蓮の茎は外側は固いのですが中
が空洞になっております。空洞
になつていると弱そうなのですが
逆に強度が増して大きな蓮の
花を支えているそうです。私の
弱さが信心をいただき強さに変
えられていくことを教えてもら
います。
今年は浄尊寺に蓮を見にきま
せんか、お待ちしております。